

災害看護論演習を行って

災害看護論担当 木下 まゆみ

R3年1月8日災害看護論演習を行いました。COVID-19の影響もあり、今年度はスーパーバイザー不在の中、学内で行うことになりました。トリアージ演習、総合演習(傷病者設定による救護訓練)を、感染対策を行いながら実施しました。幾つか学生の感想を紹介します。「傷病者の役に立てる看護師になりたい」「優先すべきこと、どんな危険が潜んでいるのかわかった」「将来災害看護に携わりたい」「非日常な状況下で看護の難しさや複雑さを学べた」このような状況ではありますが、多くの経験と学びをしたようで、授業担当者としてうれしく思います。常々から災害看護論の授業は「逆境に強い、ピンチをチャンスに変えられる人材の育成」に結びついていると感じています。今こそ、全職員が(看護師を目指す学生も含めて)一致団結してこの困難に立ち向かう時だと思います。直接的な支援ではありませんが、

せんが、看護学校として社会に貢献できる人材育成を行い、間接的にこの状況に立ち向かいたいと思います。今後とも、ご支援宜しくお願いいたします。

追記:2年生野上さんのご祖父様より手作りの足踏み型消毒器2台を頂きました。毎回消毒するたびに木のぬくもりと様々な方に支援していただいている有難さに胸が熱くなります。本当にありがとうございました。大事に使わせていただきます。

